

上尾歴史散歩

268

市制施行55周年特別企画

上尾サイクル紀行 ④

椿堂(領家)～中分

「上尾サイクルマップ」で訪ねる郷土の歴史



椿堂にある六地藏が彫られた石幢

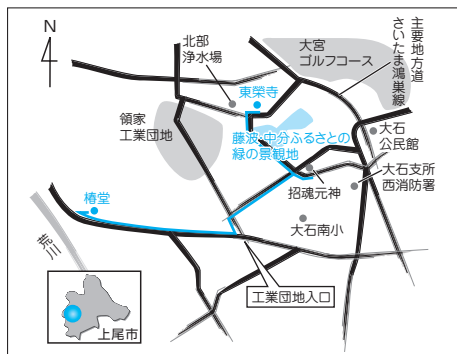
サイクリングコースから一般道に出た所にある椿堂の共同墓地の入口に、変わった地蔵がある。一般的に墓地の入口には六つの地蔵があり、六地藏と呼ばれているが、この地蔵は六角の石の一面ずつに六地藏が浮き彫りされた石幢という珍しいものである。ここから市街地方向に少し進んだ右側の太子堂入口にも同じような六地藏があり、こちらは形も大きく、浮き彫りされた地蔵もはつきりしているのを見比べてみてほしい。さらに進み、領家工業団地入口信号を左折し、次の手押し信号を右折、工業団地南側道路を下ると「藤波・中分ふるさとの緑の景観地」の外周道路に出る。市販の上尾市地

図を見ていると近くに招魂元神という珍しい名前の神社があったので寄り道してみた。境内にある大きな石碑に「陸軍大将正三位勲一等功一級伯爵 乃木希典家額」という文字を見付けた。調べてみると、明治37(1904)年開戦の日露戦争に関わるものであった。『上尾百年史』の年表には「本県陸海兵動員令下る」と当時の記録が残されている。付近の大石公民館の横庭には「日露戦役記念碑」があり、百十余名の名が刻まれている。明治44年(1911)年の大石村の人口は4,400人ほどであり、日本が勝った戦争ではあるが、多くの戦死者が上尾でも出ていたことが分かる。



藤波・中分ふるさとの緑の景観地

コースに戻るが、「藤波・中分ふるさとの緑の景観地」は外周道路を走るだけでなく、遊歩道を歩いてみると武蔵野の面影を残す上尾を実感できる。近くには、大石小学校の前身である「中分学校跡」と記された



コースに戻るが、「藤波・中分ふるさとの緑の景観地」は外周道路を走るだけでなく、遊歩道を歩いてみると武蔵野の面影を残す上尾を実感できる。近くには、大石小学校の前身である「中分学校跡」と記された



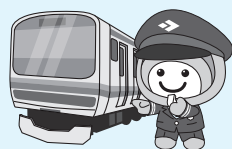
「中分学校跡」の標識がある東榮寺

次号は中分三丁目の信号から井戸木に出て鴨川沿いを下りたい。
（ぐるっとサイクルリング同好会・川島一郎）



アッピーを探そう!

右のアッピーが登場するのは 2 ページ



【賞品】 正解者の中から抽選で5人に、粗品を差し上げます。

【応募方法】 はがきかメールにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、『広報あげお』の感想を記入して、7月22日(月)まで(必着)に上尾市広報課「わくわくクイズ係」へ。

あて先：〒362-8501本町3-1-1
メールアドレス：s55000@city.ageo.lg.jp
【発表】 賞品の発送をもって発表に代えさせていただきます。 ※正解は8月号のこのコーナーで。前号の答えは「34」でした。ご応募ありがとうございました(応募者49人)。

市の人口・世帯

(平成25年6月1日現在)

22万7,928人

男/11万3,624人

女/11万4,304人

※前月より117人増。

9万4,899世帯

◆「広報あげお」は、各支所・出張所、JR上尾駅・北上尾駅の他、市内の各公共施設、金融機関などに置いてあり、自由に持ち帰れます。
◆環境保全のため、市内の公共施設へのお出掛けは市内循環バス「ぐるっとくん」を利用してください。



本紙は、再生紙を使用しております。